

**政策課題4-1 地球環境の保全**

- ・地球温暖化対策として、自動車単体対策、交通流対策、道路構造対策、交通需要の調整（TDM等）、建築物の省エネルギー化、都市緑化、二酸化炭素排出の少ない都市・地域構造の形成等を進める。

地球環境に配慮した交通・物流システムの構築

- \* 環境自動車の台数を約1,000万台に拡大
- \* 自動車の平均燃費を向上
- \* 長距離輸送における鉄道・海運の分担率を50%まで引き上げ

整備指標例	現況値 (測定年次)	長期的目標値 (目標年次)
・環境自動車の台数	約4万6千台 (平成12年3月末)	約1000万台 (平成22年までの出来るだけ早い時期)
・自動車の平均燃費	ガソリン乗用車 13.2 km/l (平成11年度)	ガソリン乗用車 平成7年度(12.3km/l) 比15%超の向上 (平成22年度)
・国内長距離貨物輸送におけるモーダルシフト化率	42.9% (平成10年度)	50.0% (平成22年度)

・モーダルシフト化率：長距離雑貨輸送分野における鉄道・海運分担率